

2004年8月31日

各位

IPA 未踏ソフトウェアプロジェクト  
プロジェクトマネージャ  
東京大学教授 坂村 健

IPA 未踏ソフトウェアプロジェクト  
(坂村 健プロジェクトマネージャによる応募プロジェクト分)  
2004年度第2回公募のご案内

組み込み分野におけるソフトウェア開発において、異なるプラットフォーム間で開発資産を流用することは、今日切望されている課題の一つです。IPA 未踏ソフトウェアプロジェクト(坂村 健プロジェクトマネージャ:PMによる応募プロジェクト)では、独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)がソフトウェア関連分野で優れた能力を有する「スーパークリエイター」の発掘・支援を目的として進めている

未踏ソフトウェア創造事業の一環として、そのような組み込みシステムに対するミドルウェアを創作し、それを流通・普及・実用化させることを目的としたプロジェクトの公募をいたします。公募要項の概略を以下に記しますので、皆様のご応募をお待ちしております。

あわせて、IPA 未踏ソフトウェアプロジェクト(坂村 健 PMによる応募プロジェクト)に関する説明会を開催しますので、皆様ご多忙のこととは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。

記

IPA 未踏ソフトウェアプロジェクト(坂村 健 PMによる応募プロジェクト)公募要項の概略  
要項の詳細は <http://www.ipa.go.jp/jinzai/esp/2004mito2/> にあります。

・公募対象プロジェクト

「組み込みシステムのためのミドルウェア/アプリケーションソフトウェア」

公募対象となるソフトウェアの条件は以下の通りです。

1. ソフトウェアの分野は問わない。できるだけ多くのユーザが予想される一般的かつ基礎的なものが望ましい。
2. 創作されるコードに対して極めて真っ当であるという着実さ、または芸術的美しさを感じられるもの。
3. 組み込みシステム上での利用を目的としていること。
4. ソフトウェアの移植性の高い、標準性の高いプラットフォーム上に構築すること。
5. 成果物はオープンソース化し無償で提供されること。

・提案者の資格

IPA 未踏プロジェクト創造事業は、法人対象に行っているソフトウェア関連事業と異なり、個人または数名のグループを対象としています。このため、提案者は以下の条件を見ることが必要です。

1. 個人または個人からなるグループであること。
2. 日本国籍を有すること、または日本在住の外国人。
3. 提案採択後のプロジェクト実施にあたっては、法人格を有するプロジェクト管理組織の協

力を得ること。プロジェクト管理組織は、PM または IPA が紹介することも可能です。

4. 組織に属する個人またはグループが提案を行う場合は、本事業による支援措置を受けると、および開発成果が個人またはグループに帰属することについて、所属組織があらかじめ了解していること。(契約時には、それを示す書類として承諾書が必要となります)

・応募方法

未踏ソフトウェア公募概要ページ(<http://www.ipa.go.jp/jinzai/esp/2004mito2/youryou.html>)から申請書をダウンロードし、必要事項を記載のうえ IPA に電子申請してください。電子申請については、<https://www.ipa.go.jp/about/densinsei/tejun/e-ipa.html> をご覧ください。

説明会の開催

- ・日時：平成 16 年 9 月 14 日（火）13:30～14:30
- ・場所：社団法人トロン協会 会議室 [ 地図：下記 URL 参照 ]  
108-0073 東京都港区三田 1-3-39 勝田ビル 5 階  
<http://www.assoc.tron.org/jpn/intro/map.html>  
電話 03-3454-3191

なお、説明会にご出席いただける場合は、下記「出席票」にてご返送いただくと幸いです。

=====  
説明会 出席票

[ 9 月 14 日 13:30 - 14:30 (社)トロン協会 会議室 ]

所属: 氏名:  
出席します

送り先: [ohashi@assoc.tron.org](mailto:ohashi@assoc.tron.org)

=====  
以上